

令和6年度 障害者のスポーツに関する調査 結果報告書【概要版】

- 1 調査目的・・・ 今後の本県における障害者スポーツの推進に向け、障害者のスポーツに関する意識や実態を把握することにより、令和5年3月に見直した県のスポーツ推進計画における数値目標の達成度や、事業の効果等を測ることを目的として、新たに県民へのアンケート調査を実施する
- 2 調査地域・・・ 神奈川県全域
- 3 調査対象・・・ 県内に居住する障害者本人あるいは同居する家族に障害者・児（6歳以上）がいる方 ※小学生以上が対象
- 4 調査方法・・・ 「楽天インサイト」パネル登録モニター（約220万人）を対象としたWEBアンケート調査
- 5 標本数・・・ 回収標本数2,696サンプル（県内に居住する6歳以上の障害者〔身体障害者、知的障害者、精神障害者、その他〕あるいはその同居する家族とし、それぞれ回収目標数に割り付けて設定）
- 6 調査期間・・・ 令和6年6月24日（月）～7月24日（水）
- 7 調査委託機関・・・ 株式会社サーベイリサーチセンター

注）「しょうがい」という言葉には、「障がい」「障碍」など様々な表記があります。
本調査では、法令等における表記である「障害」を使用しています。

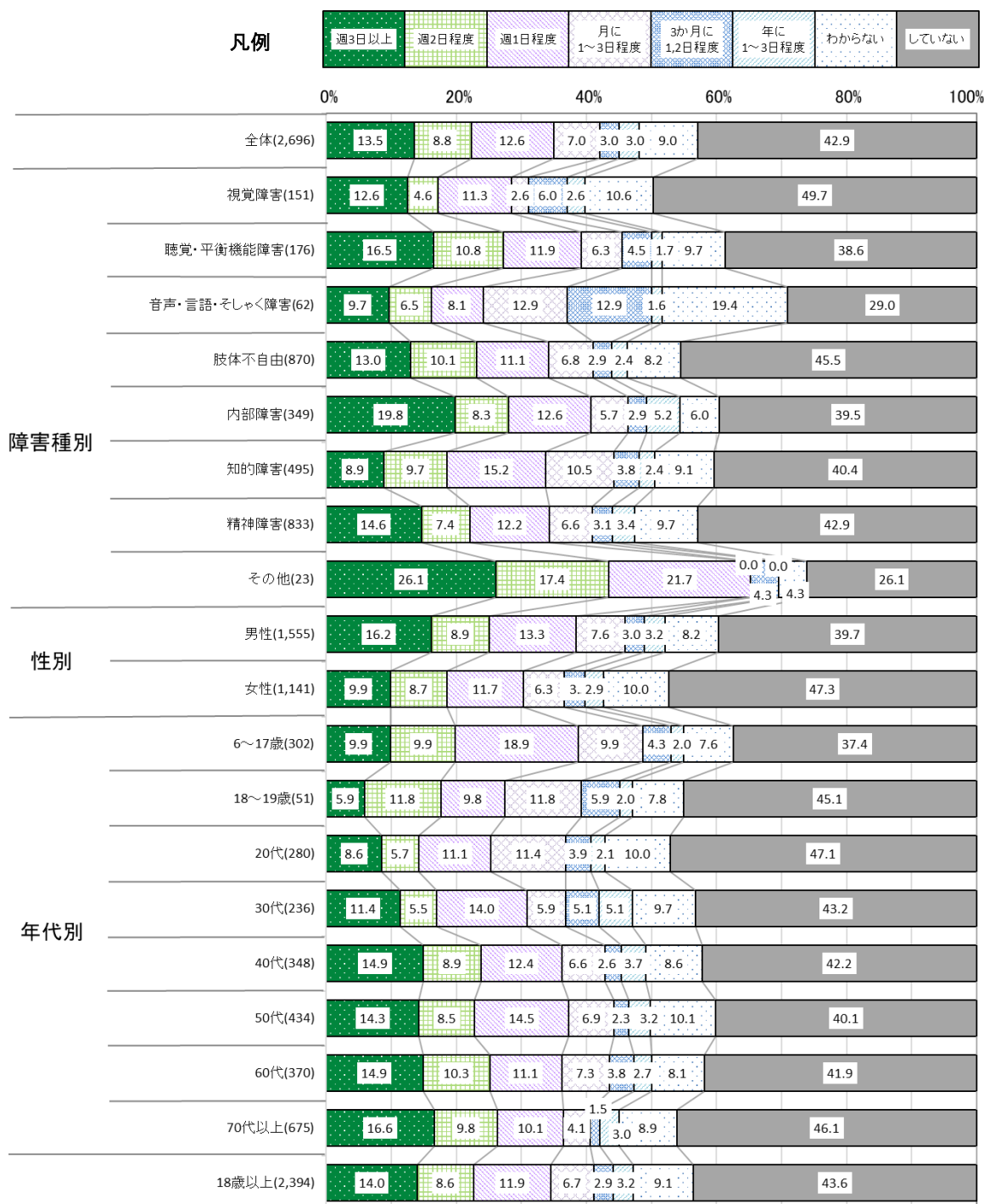
神奈川県立スポーツセンター

■ スポーツ実施率

全員に、学校の保健体育の授業以外で、この１年間にどのくらいの頻度で運動やスポーツを行ったかたずねたところ、週１日以上運動やスポーツを行った人は35.0%でした。なお、「していない」は42.9%でした。

障害種別でみると、週１日以上運動やスポーツを行った人の割合が高かったのは内部障害で40.7%でした。

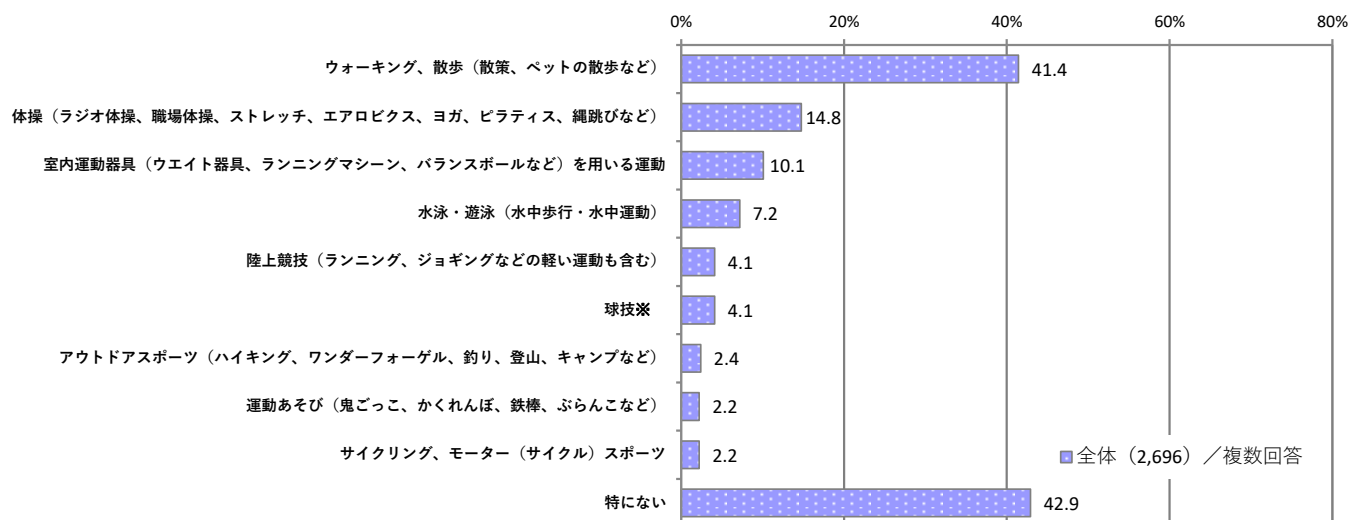
年代別でみると、週１日以上運動やスポーツを行った人は、18歳以上が34.5%、6～17歳は38.7%でした。



注) 集計(図表の数値)は、小数点第2位を四捨五入しており、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
また、四捨五入により単数回答結果の数値を複数合計した値が、図表のものと同値にならない場合がある。

■ 1年間に行った運動・スポーツ種目（上位項目）

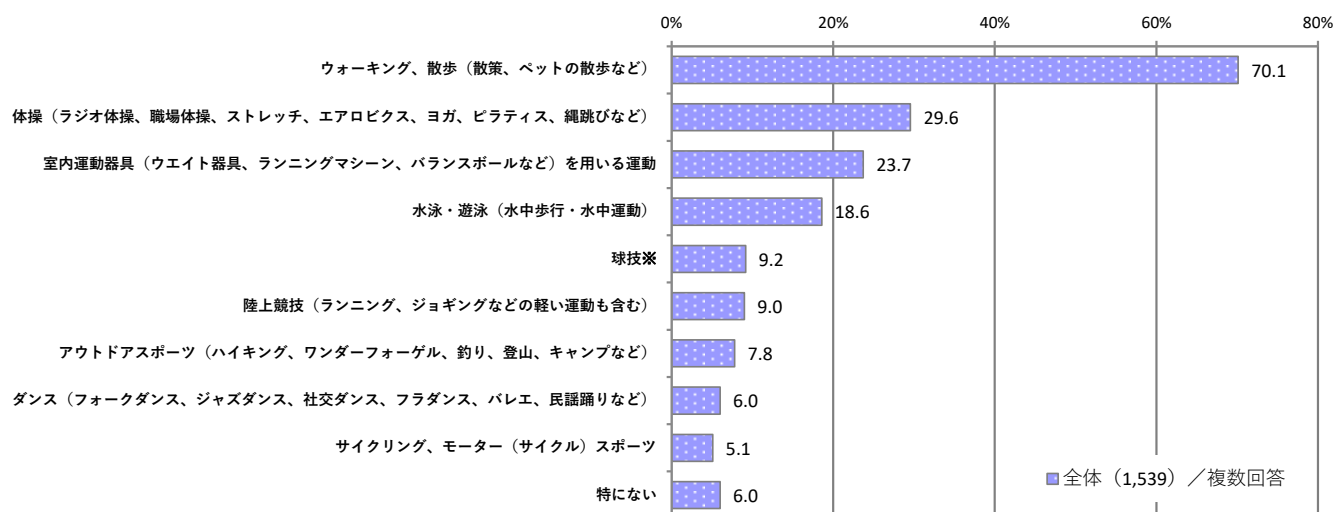
1年間に行った運動・スポーツ種目についてたずねたところ、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩など）」を行ったと回答した人が41.4%でした。次いで「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど）」が14.8%、「室内運動器具（ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど）を用いる運動」が10.1%となりました。なお、「特にない」は42.9%でした。



※「ブラインドサッカー」、「車いすテニス」、「サウンドテーブルテニス」、「シッティングバレーボール」、「車いすバスケットボール」、「車いすラグビー」、「ボッチャ」を除く

■ 今後（も）行いたい運動・スポーツ種目（上位項目）

今後（も）行いたい運動・スポーツ種目についてたずねたところ、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩など）」を行いたいと回答した人が70.1%でした。次いで「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳びなど）」が29.6%、「室内運動器具（ウエイト器具、ランニングマシン、バランスボールなど）を用いる運動」が23.7%となりました。

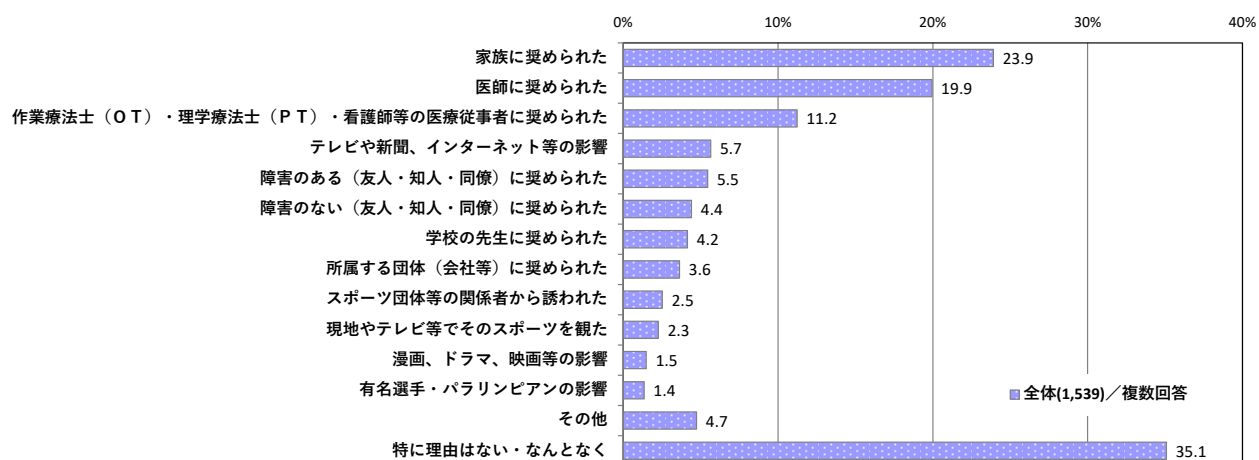


※「ブラインドサッカー」、「車いすテニス」、「サウンドテーブルテニス」、「シッティングバレーボール」、「車いすバスケットボール」、「車いすラグビー」、「ボッチャ」を除く

■ 運動・スポーツを始めたきっかけ

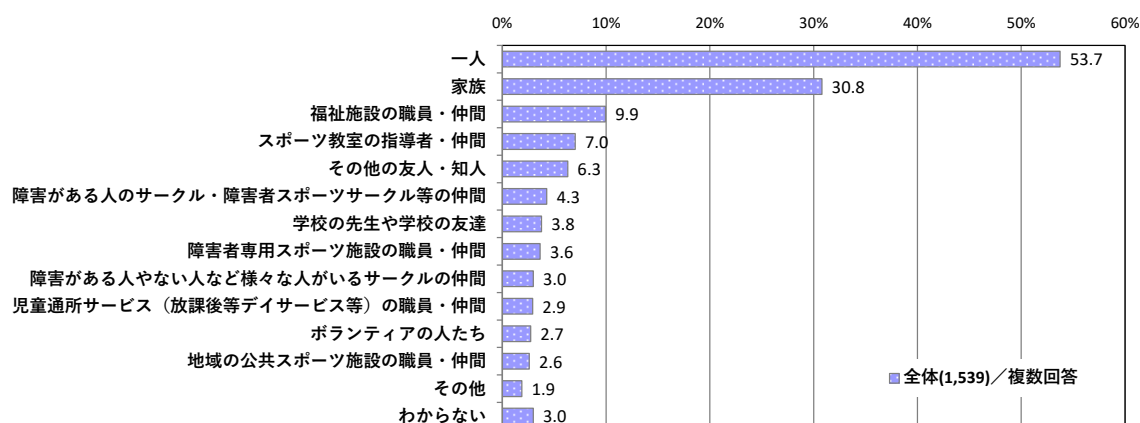
運動・スポーツを始めたきっかけについてたずねたところ、「家族に奨められた」が 23.9%、「医師に奨められた」が 19.9%と他に比べて高い割合となりました。

また、「医師に奨められた」19.9%とその次に多い、「作業療法士(OT)・理学療法士(PT)・看護師等の医療従事者に奨められた」11.2%を合わせると 31.1%であり、医師や医療従事者から奨められて運動を開始した方が多い状況です。



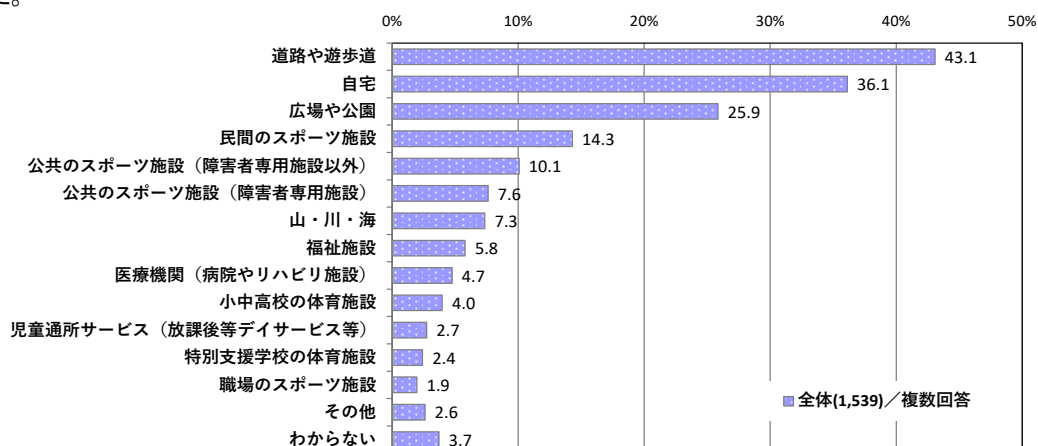
■ 運動・スポーツを一緒にする人

運動・スポーツを一緒にする人についてたずねたところ、「一人」が 53.7%、「家族」が 30.8%と他に比べて高い割合となりました。



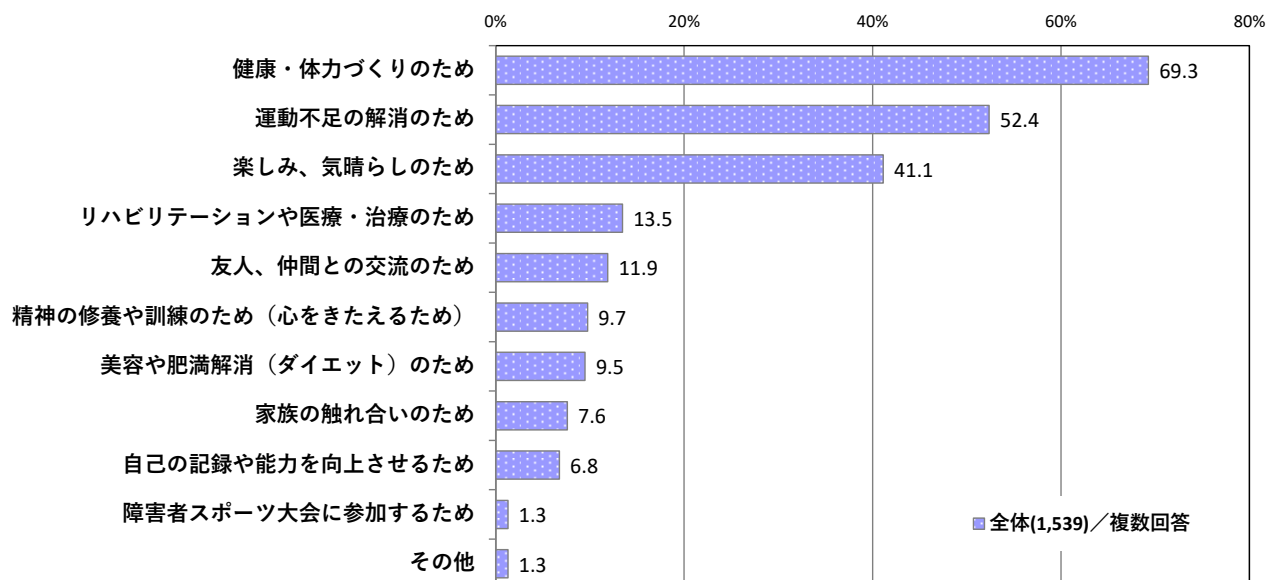
■ 運動・スポーツを行っている場所

運動・スポーツを行っている場所についてたずねたところ、「道路や遊歩道」、「自宅」、「広場や公園」が他に比べて高い割合となりました。



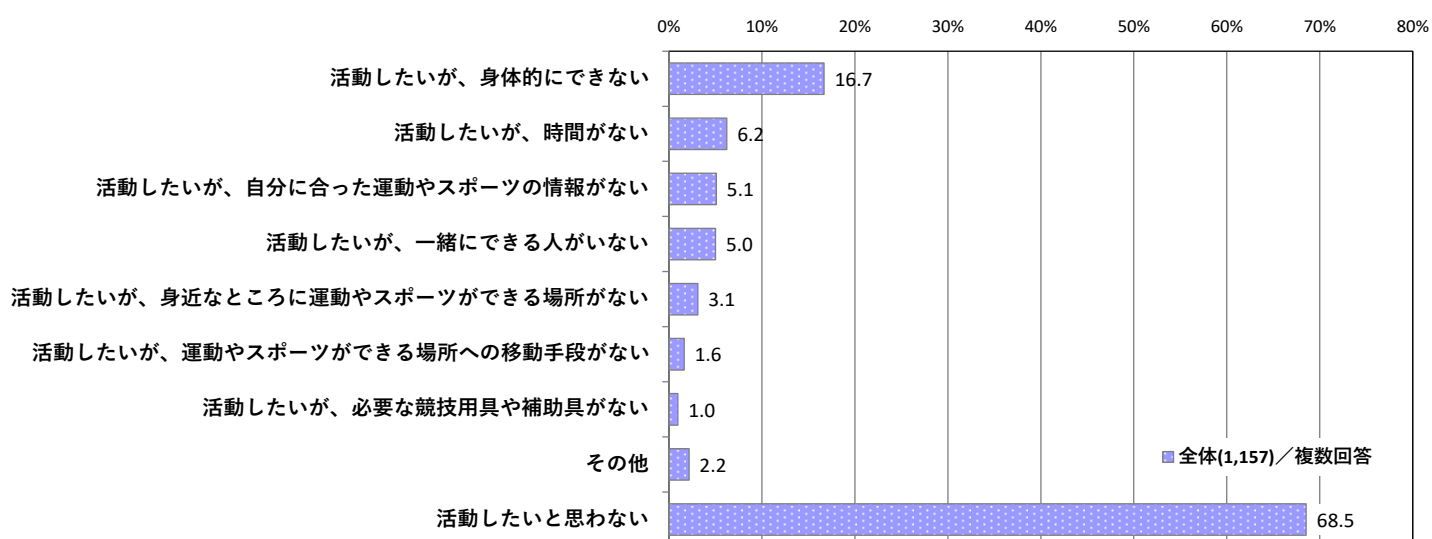
■ 運動・スポーツをする理由

運動・スポーツをする理由についてたずねたところ、「健康・体力づくりのため」が69.3%でした。次いで「運動不足の解消のため」が52.4%、「楽しみ、気晴らしのため」が41.1%となりました。



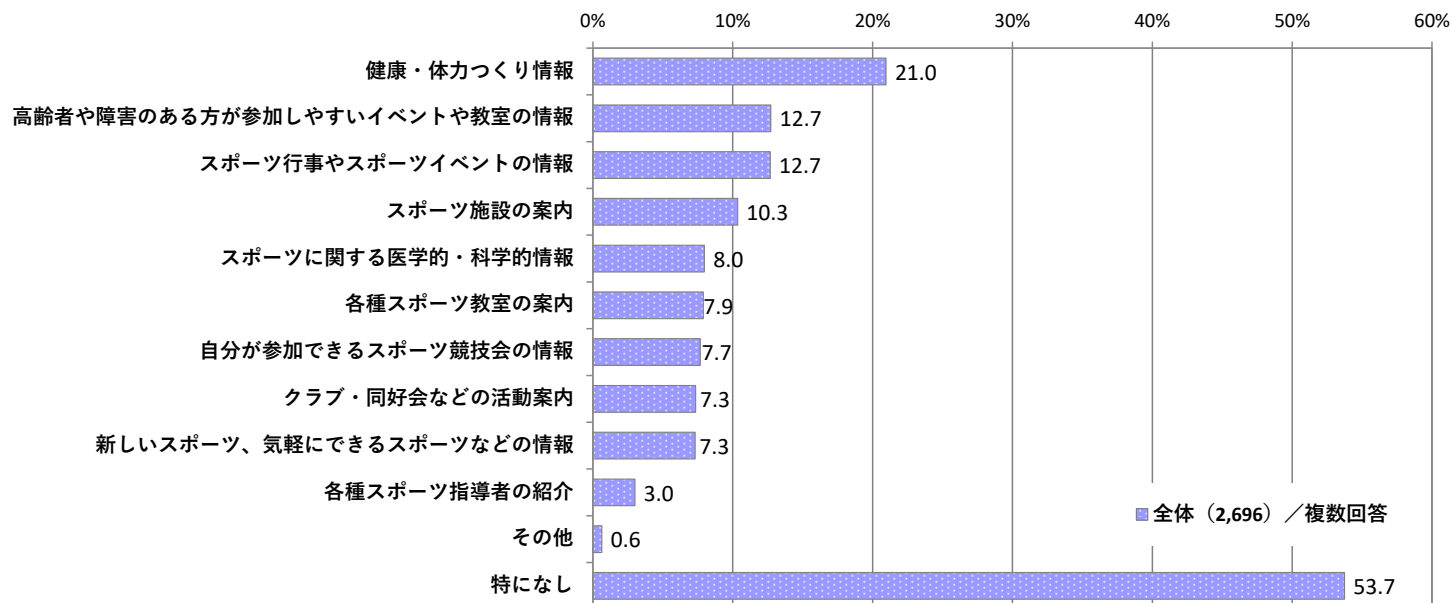
■ 運動・スポーツを行わなかった理由

運動・スポーツを行わなかった理由についてたずねたところ、「活動したいが、身体的にできない」が16.7%でした。次いで「活動したいが、時間がない」が6.2%、「活動したいが、自分に合った運動やスポーツの情報がない」が5.1%となりました。なお、「活動したいと思わない」は、68.5%でした。



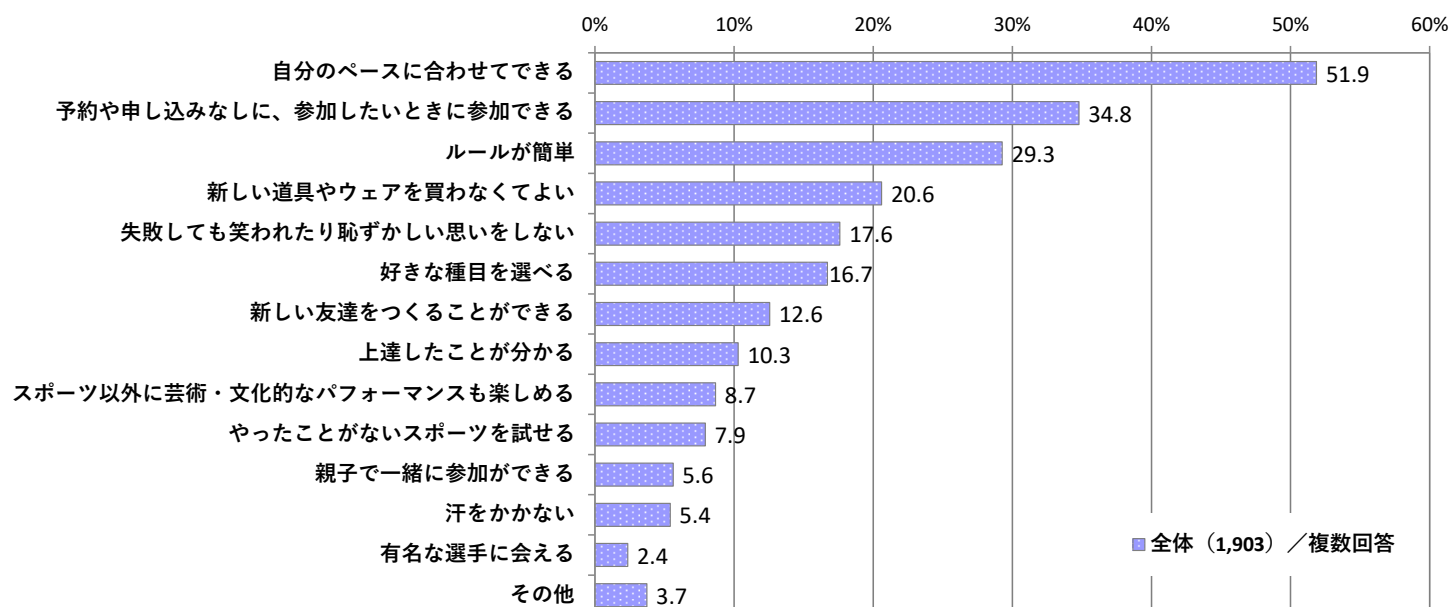
■ 運動やスポーツ関連情報ニーズ

運動やスポーツ関連情報ニーズについてたずねたところ、「健康・体力づくり情報」が21.0%でした。次いで「高齢者や障害のある方が参加しやすいイベントや教室の情報」、「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」が共に12.7%となりました。なお、「特になし」は、53.7%でした。



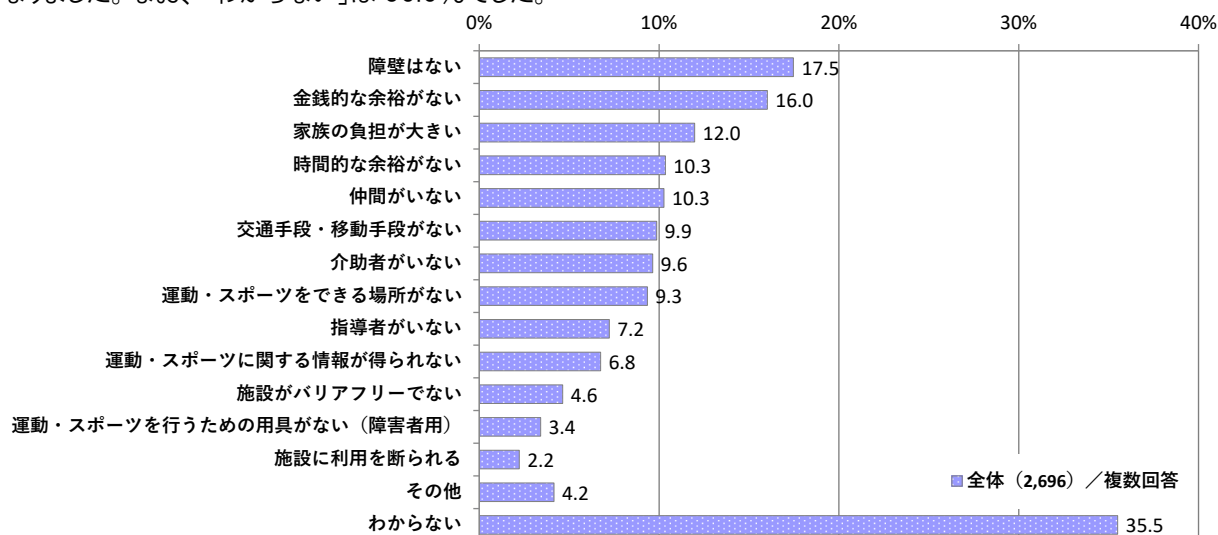
■ 運動やスポーツへの参加条件

運動やスポーツへの参加条件についてたずねたところ、「自分のペースに合わせてできる」が51.9%でした。次いで「予約や申し込みなしに、参加したいときに参加できる」が34.8%、「ルールが簡単」が29.3%となりました。



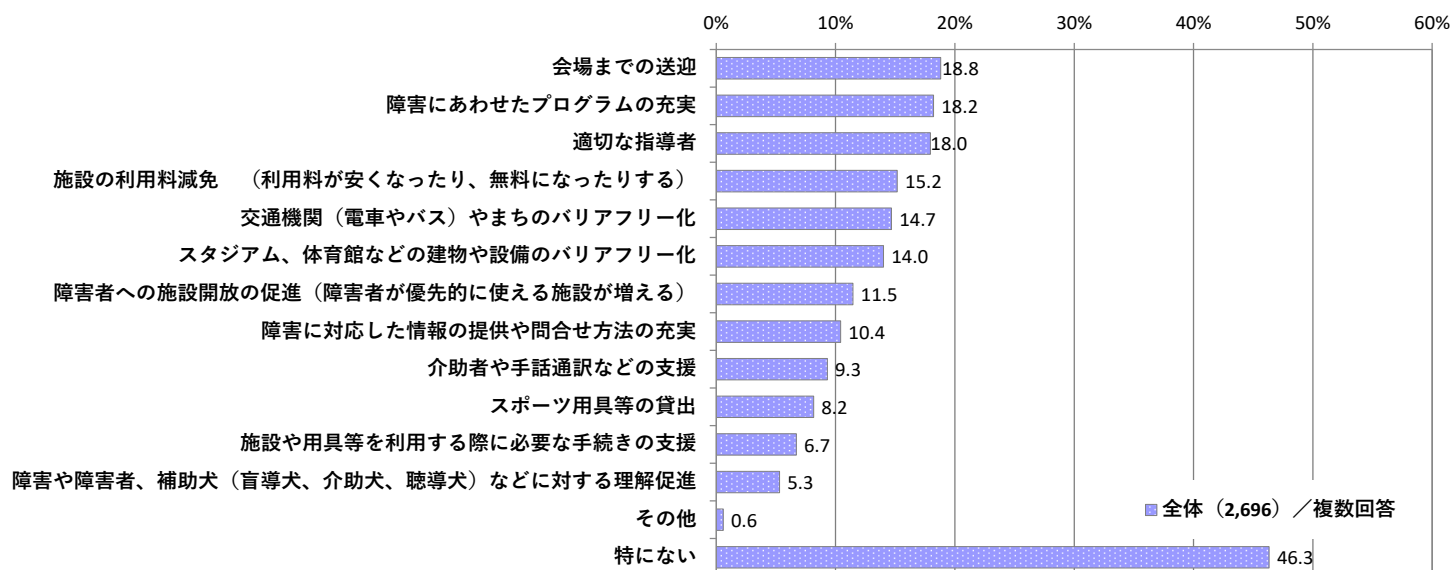
■ 運動・スポーツをする際の障壁

運動・スポーツをする際の障壁についてたずねたところ、「障壁はない」が 17.5%、「金銭的な余裕がない」が 16.0%となりました。なお、「わからない」は 35.5%でした。



■ 運動やスポーツをする際の必要な支援

運動やスポーツをする際の必要な支援についてたずねたところ、「会場までの送迎」が 18.8%、「障害にあわせたプログラムの充実」が 18.2%となりました。なお、「特にない」は 46.3%でした。



■ かながわパラスポーツの認知度

かながわパラスポーツの認知度についてたずねたところ、「知っている」が 20.6%、「知らない」が 79.4%となりました。

